

文学史

三大和歌集の比較 授業プリント5

歌集	撰者	時代	特色	内容	歌風
万葉集	大伴家持 <small>おおとものかたち</small>	奈良時代	・現存する日本 の歌集。 ③（最古）	・作者が⑥（ 人歌）から、 兵士（天皇） 農民（農民） など階層にわたる。 庶民まで幅広い 歌を⑧（防） ）と言う。	り ⑬ 「ますらをぶ」 「男性的」 五七調
古今和歌集	①（紀貫之）	平安時代初期	・日本で④（ 初）の勅撰（天 皇の勅命で作 られた）和歌集。 ⑤（最）	・華美な平安貴 族文化の傾向が 強い。 構成が春・秋・ 冬・夏に分けら れ、後の和歌集 の手本となつた。 ⑨（夏）	り ⑯ 「たをやめぶ」 「女性的」 七五調
新古今和歌集	②（藤原定家）	鎌倉時代	・⑤（八） 番目の勅撰和歌 集	・武士の出世、 天皇の力の衰退 などが没落する。 それが代への憧 れがうすい。 く、観念的で現 実感がうすい。 ⑩（本歌取り）	いり ⑭ 「洗幽練玄」 「技巧的」 七五調